

2021年8月17日(火)

外国人市民に関する調査研究事業 成果報告会
豊岡市役所本庁舎2階 大会議室

I 外国人女性の妊娠・出産・乳幼児育児に対する 支援の現状と課題

—健康増進課、妊娠・出産・育児経験者 聴き取り調査報告—

II 外国にルーツのある子どもとその保護者の 就学前施設における現状と課題

—就学前施設、外国人保護者 聴き取り調査報告—

大阪教育大学 小林和美

I 外国人女性の妊娠・出産・乳幼児育児に 対する支援の現状と課題

—健康増進課、妊娠・出産・育児経験者
聴き取り調査報告—

本報告の構成

- 1 外国人妊産婦・子育て家庭への支援の現状
- 2 支援する側が困っていること
- 3 支援する側が知りたいこと・要望
- 4 外国人の母親の妊娠・出産・育児経験、日本と母国との違い
- 5 見えてきた課題

1 外国人妊産婦・子育て家庭への支援の現状

- 健康増進課では、2017年度より「おやこ支援室」を立ち上げ、子育て支援に力を入れている。
- 妊娠・出産・乳児期の相談を受ける専任保健師を設置し、妊娠期からの切れ目ない支援を目指している。
- 外国籍の市民にも、日本国籍者と同様の制度的サポートを行っている。

- 日本語がわからない母親とその子どもについて、全体像の把握はできていない。出生、健診等のさいには把握できるが、随時転入出を把握することは困難である。
- 避妊教育を受けていない、若年、低所得、支援者がいない、望まない妊娠などの理由のために、虐待を見越した支援を妊娠期からしなければならぬケースが最近増えている。子ども支援センターの家庭相談員と一緒に介入をすることも、始めている。

妊産婦・子育て家庭への支援

(2020年度)



太枠: 外国語対応有り

医療機関

妊婦健診受診

- 妊娠7か月まで 月1回
- 妊娠8.9か月まで 2週間1回
- 妊娠10か月 1週間1回

出産・入院

2週間健診

1か月児健康診査

予防接種(生後2か月より)

母子健康手帳 交付

4か月児健康診査

1歳6か月児 健康診査

3歳児 健康診査

5歳児 発達相談

7か月児健康診査

妊婦健診費用助成制度

新生児聴覚検査 費用助成制度

1歳 育児教室

2歳 育児教室

妊婦歯科健診

妊婦訪問・相談

新生児・乳児訪問

発達相談・育児支援教室

マタニティママ&ベビー交流会

産前・産後サポート事業(ヘルパー派遣)

産後ケア事業(宿泊型・訪問型)

おやこ支援室

健康増進課「母子保健事業紹介」より

【母子健康手帳交付】

- 外国人妊婦は養育支援ネットでの病院と地域(行政)間の情報共有の対象になっている。

- 外国語に日本語を併記した母子手帳の交付
(豊岡市での年間出生数500~550人中)

2017年度 4件

2018年度 4件

2019年度 5件

2020年度 12件 (2021年3月4日現在)

・・・フィリピン国籍者が多い

外国人同士の夫婦の増加、新型コロナウイルスの影響有

コロナ禍で帰国できず、支援者を呼び寄せることも難しいなかで
出産する外国人妊婦の支援体制を整えることが課題



現在、9言語に対応 (公財)母子衛生研究会

- 母子手帳交付のさい、日本国籍の妊婦と同様に、①妊婦健診・聴覚検査・妊婦歯科健診の制度説明、②保健相談、③歯科相談、④栄養相談を行う。そのさい、保健師が面談し、生活状況の確認、産前産後のサポートの説明や相談をする。
- 外国人の場合、母子手帳交付日までに通訳の手配ができていないことは現状難しい。通訳ができる人が同伴する場合が多い。
- 時間がかかるが、制度の説明や産前産後の状況把握、保育園入園希望時期の把握や入園手続きの説明などを、丁寧におこなっている。
- 2020年7月より母子手帳アプリを導入。英語・中国語・スペイン語等12言語に対応



母子手帳アプリ
母子モ

【家庭訪問】

- 外国人同士の夫婦の場合は、社会的なリスクがあるため「ハイリスク」として対応し、「新生児訪問」だけでなく、妊娠中にも1回、家庭訪問をする。
- 外国人妊産婦については、かならず(地区の担当保健師や委託の助産師ではなく)出産に関する専任の保健師が訪問する。

【乳幼児健診】

外国語 乳幼児健診問診票の使用 ...年間数件 初回の把握が課題

4 Month Health Check Survey Fill out the required information and bring it to the 4 month checkup 受付日 受付No.

Child's full name (フリガナ) Male / Female Birthdate y / m / d address Your name and relation to the child
 birth order (year should be in Heisei) Toyooka-shi
 (1st born, 2nd born, etc.) (Month days old phone number

• Has the child had any illnesses? Yes · No
 (Name the illnesses)

• Is the child currently being treated (currently under observation) for any illnesses? Yes · No
 (Name the illnesses) (Medical facility's name (i.e. Hospital or clinic name)

• Can they hold up their head? Yes · No
 Duration: years months old (approximately)

• When you hold them do they violently stretch out their arms and legs making it difficult to hold them? No · Yes

• When you lay them on their stomach, do they support their bodies with their elbows and lift their head? Yes · No

• Which hand do they use to grasp their toys? Yes · No

• Can they turn their head towards the direction a sound is coming from? Yes · No

• Can they follow a moving object with their eyes? Yes · No

• Can they focus? Yes · No

• Can they verbally laugh when you make them? Yes · No

• Can they make sounds such as "ah, ah"? Yes · No

• Can they bring both hands together to play while lying on their backs? Yes · No

• What is their main source of nutrition? Breast milk (every hours)
 Formula(ml× times)/ Both Breast milk (times a day) + Formula(ml× times)


• Are you feeding them anything else besides breast milk and formula? Yes · No
 Water / Tea / Other()

• Describe the condition of their bowel movements.
 They have one everyday / not everyday (one time every ~ days)

• Can they differentiate between day and night? Yes · No

• Are you taking any precautions to prevent accidents? (Two or more answers is okay.)

- Don't violently move or shake baby
- Don't leave the child alone while you go out.
- Don't leave the child alone in the car.
- Always keep the sides of the crib up.
- Know how to administer CPR and use an AED.
- Use a car seat that is properly installed.
- Don't leave cigarettes, coins, handkerchief, plastic or other potentially dangerous items where the child can reach.
- Don't leave anything that may burn the child where they can reach it.
- Don't put the child to sleep on an overly soft bed.
- Put the child to sleep on their back.
- Other()







• How are you, the mother, feeling? Good / Normal / Bad

• Who is the main care giver during the day?
 Please write their relation to the child. ()

• Is the mother working? Yes · No

• When you are troubled is there someone or a group that you can go to for advice? No · Yes ()

• Which of the following expresses your current feelings towards raising your child? Check the following boxes. Two or more answers is okay.

Happy Normal Stressed Depressed

• Is there anything that you are worried about or would like advice for regarding your child(ren) or family?

※ Write anything that you are concerned about with your child's exam.

→★裏面も記入お願いします。

問診 相談 栄養

作成協力:NPO法人
 にほんご豊岡あいうえお

言語

英語・中国語・タガログ語・
 ベトナム語・タイ語

健診・育児教室

4か月児健康診査
 7か月児健康診査
 1歳6か月児健康診査
 2歳育児教室
 3歳児健康診査

【家庭訪問・乳幼児健診】

- 通訳サポートをNPO法人へ依頼、または、知人が同伴



同伴者の負担の問題有

有償ボランティアのかたちで活動できないか？

- ※ 2021年8月～ 「豊岡市外国語通訳ボランティア派遣」開始
NPO法人の協力を得て、乳幼児健診に限らず、市の事業で、市から依頼する場合、有償ボランティアというかたちで通訳に入ってもらおう。

【子育て支援プログラムの利用】

この3年間、利用実績なし(ヘルパー派遣サービス利用申請1件)



本人、家族がサービスを望んでいるが利用できないのか、
そもそも利用ニーズがないのかがわからない。

2 支援する側が困っていること

- (1) 転出入の把握が難しい
- (2) 身内の支援者が少ない、孤立しやすい
- (3) 支援ニーズの把握が難しい
- (4) 意思疎通が難しい
- (5) 支援者側からの介入が難しい
- (6) 文化の違い？ 日本のやり方の押し付けになる？
- (7) 発達の見定めが難しい
- (8) 情報が届いているのか心配
- (9) 経験の蓄積・共有に課題がある

(1) 転出入の把握が難しい

- 転入して来た妊婦や未就学児のいる母親については、健診でないと出会うタイミングがない。途中転入の人が抜け落ちやすい。
- 海外で里帰り出産した母親が、いつ日本に帰って来るのかを把握することが難しい。
- コロナの状況が落ち着いたり、自分たちの生活が安定したら、母国の祖父母に預けている未就学の子どもを呼び寄せたいと考えている人たちがいるが、なかなか予定通りにいかないし、知らせてもらえない。

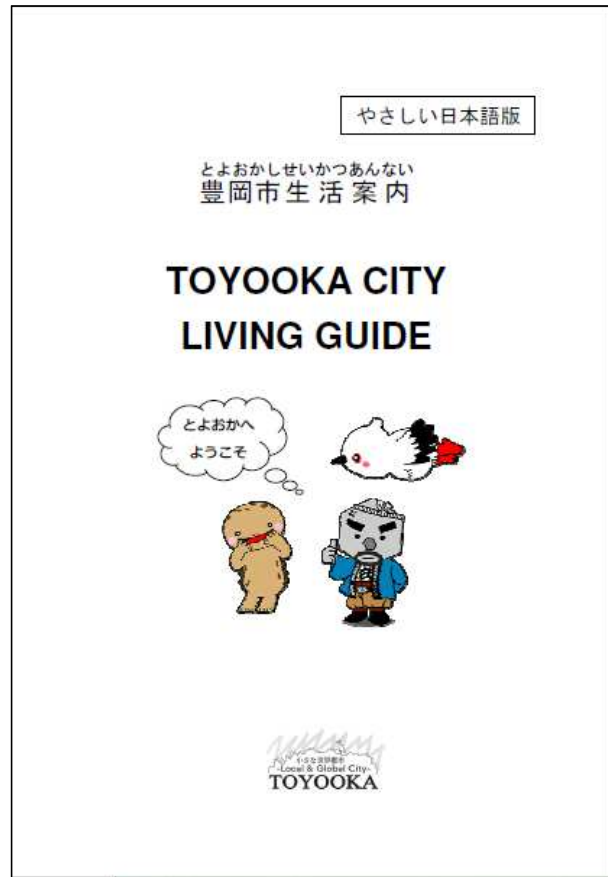


- 妊婦や子どもたちが入ってきた時に支援者が上手に介入できて、
保育園・学校・地域などへのつながりがタイミング良くできる仕組みが
ない。
- 転入届が出されるさい、児童手当、国民健康保険等の手続きはかならず案内し、小中学生がいる世帯は教育委員会にも案内している。しかし、保育園・幼稚園の手続きや妊産婦支援にまではつないでい
ない。

日本人の転入のさいには「転入・転居・世帯分離・世帯合併・世帯主変更・世帯変更をされた方へ」を渡して必要なところを回ってもらう。
外国人には、リビングガイド、出入国在留管理庁監修の『生活・仕事
ガイドブック』を渡している。

→ やさしい日本語版「転入・転居された方へ」の作成

『豊岡市リビングガイド』



「やさしい日本語版」「英語版」「中国語(簡体字)版」「中国語(繁体字)版」
「タガログ語版」「ベトナム語版」「タイ語版」 38ページ

<https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/foreign/1004990.html>

『生活・仕事ガイドブック』



「日本語」「やさしい日本語」を含め、
15か国語で作成 120ページ

<http://www.moj.go.jp/isa/support/portal/index.html>

「豊岡市へようこそ(転入・転居された方へ)」やさしい日本語版



とよおかし 豊岡市へようこそ(転入・転居された方へ)

豊岡市に引っ越したあとに、いろいろな手続きをします。下の表を見て、手続きをしてください。地域の振興局でも手続きをすることができます。子育てセンター(5歳までの子どもと親が交流する所)、図書館(本を借りる所)も住んでいる地域にあります。日本語教室もあります。

豊岡市に引っ越したあとに、いろいろな手続きをします。下の表を見て、手続きをしてください。地域の振興局でも手続きをすることができます。子育てセンター(5歳までの子どもと親が交流する所)、図書館(本を借りる所)も住んでいる地域にあります。日本語教室もあります。

図書館(本を借りる所)も住んでいる地域にあります。日本語教室もあります。

〇市役所の窓口(電話番号は、0796を先に押します)

内容	担当課	振興局	電話番号	メールアドレス
住民票(住所の証明) マイナンバーカードを持っている	市民課	市民振興課	21-9015	shimin@city.toyooka.lg.jp
転居届(引っ越した時)				
児童手当をもらっている				
国民年金に入る				
国民健康保険に入る			21-9061	kyou@city.toyooka.lg.jp
後期高齢者医療保険に入る				
所得証明書・納税証明書(税金の証明)がほしい	税務課	市民振興課	23-1118	zeimu@city.toyooka.lg.jp
犬を飼っている・ごみ	生活環境課	市民振興課	23-5304	senkatsukanikyou@city.toyooka.lg.jp
観光情報	大交流課	地域振興課	21-9016	kankou@city.toyooka.lg.jp
外国人生活相談	取組調整課	—	21-9022	advisory-service@city.toyooka.lg.jp
防災無線・防災マップ	防災課	地域振興課	23-1111	bousai@city.toyooka.lg.jp
市営住宅(市の住宅)に住みたい	建築住宅課	地域振興課	21-9018	kenchiku@city.toyooka.lg.jp
保育所・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブ	こども育成課	地域振興課	22-4452	kodomokusei@city.toyooka.lg.jp
小学校・中学校	こども教育課	地域振興課	23-1451	kodomokyoku@city.toyooka.lg.jp
障がい者手帳を持っている	社会福祉課	市民振興課(立野庁舎)	24-7031	shakaifukushi@city.toyooka.lg.jp
障がいがある子どもがいる				
生活支援				

ひとり親支援	社会福祉課(立野庁舎)	市民振興課	24-7031	shakaifukushi@city.toyooka.lg.jp
妊婦・出産・乳幼児の相談	健康増進課	市民振興課	24-9064	oyakozhen@city.toyooka.lg.jp
健康相談	(立野庁舎)	市民振興課	24-1127	kenkou@city.toyooka.lg.jp
介護相談	高齢介護課(立野庁舎)	市民振興課	24-2402	konenkago@city.toyooka.lg.jp
水道を便り地める	水道お客さまセンター	—	22-5378	(住所) 上佐野1788-3

〇豊岡地域の施設

名前	住所	電話番号	メールアドレス
子育て総合センター	大手町4-5 アイティア階	0796-24-4604	toyooka-kosodate@city.toyooka.lg.jp
図書館	京町5-28	0796-23-6151	toyotb@city.toyooka.lg.jp

〇地域の振興局(近畿風に、地域の子育てセンター(竹野以外)、図書館分館があります。)

名前	住所	電話番号	メールアドレス(市民振興課)
加路振興局	加路町桃馬1057-1	0796-32-0001	kinosaki-shimin@city.toyooka.lg.jp
竹野振興局	竹野町竹野1585-1	0796-47-1111	takeno-shimin@city.toyooka.lg.jp
竹野子育てセンター	竹野町和由389-1	0796-47-2030	takeno-kosodate@city.toyooka.lg.jp
日高振興局	日高町裕市920	0796-42-1111	hidaka-shimin@city.toyooka.lg.jp
出石振興局	出石町内町1	0796-52-3111	izushi-shimin@city.toyooka.lg.jp
琴東振興局	琴東町出石150	0796-54-1000	tantou-shimin@city.toyooka.lg.jp

〇日本語教室

名前	住所	電話番号 メールアドレス
NPO法人にほんこ豊岡あいうえお	加路町5-13	0796-20-4037 aueb_nihongo_toyooka@nka.sonet.ne.jp
Tia 豊岡市国際交流協会	箕輪町23-6 豊岡健康福祉センター3階	0796-24-5931 info@tia-online.net
にほんごびらま(企業向け)	昭和町2-50	050-3173-8250 nihongopira.2021@gmail.com



(2) 身内の支援者が少ない、孤立しやすい

- 近くに支援してくれる家族・親族が少ない。
- 子どもが保育園に入ったり、地域の子育てセンターにつながれば日常的に支援を受けられるが、就労状況や日本語能力の制約がある場合は難しい。
- 同国人同士のコミュニティの結束が強い場合、お互いに助け合える反面、日本の支援を受け入れられなかったり、コミュニティのなかで関係が完結してしまい外に支援を求められなかったり、必要な手続きをしそびれてしまったりする場合がある。

(3) 支援ニーズの把握が難しい

①そもそも、問題を感じているのか？

(支援ニーズがあるのか、ないのか)

②保健師などによるサービスがあることを知っているのか？

(国による制度の違い)

③本人、家族がサービスを望んでいるが、利用できないのか？

(言葉、通訳や家族を介さなければならないことの障壁？)

(4) 意思疎通が難しい

- 母親の生育歴・既往歴を聴き取りたいが、聴き取りのスキル、言葉の問題や文化の違いもあり、うまく聴き込めない。
- 自分たちが言ったことのニュアンスが相手に伝わっているのかを確認することが難しい(通訳を介した場合も)。
- 把握した時点でフォローが必要なケースは介入をするが、訪問日を調整することだけでも、言葉の壁、問題意識の共有が難しく支援ニーズを共有できない。
- 急な対応や通訳なしでの家庭訪問には、翻訳アプリを活用するが、正しく翻訳されているか不安(とくに英語以外の言語の場合)。

(5) 支援者側からの介入が難しい

- 保健師は「予防」のためにかかわろうとするが、その時点では、それほど困っていないので助けを求めない。(事が大きくなってから、助けを求めることになる。)
- アポが取れない。郵送、ポスティング、アポなし訪問などでも接触できない場合もある。
- 保健師側のタイミングで支援したいとき、通訳の手配が難しい。

(6) 文化の違い？ 日本のやり方の押し付けになる？

- 母親の母国では、そういうやり方なのだろうか？

外国の育児についてのスタンダードを知りたい。

早くからジュースを飲ませる？ 冬でも薄着？

授乳のとき抱っこしないの？ 母乳はいつまで与える？

離乳食に何を与える？

- 赤ちゃんのために伝えたいことがあるが、一方的に、日本の基準を押し付けるのはよくないかも...？

(7) 発達の見定めが難しい

- 発達の問題(自閉スペクトラム症)のために子どもの言葉が出ないのか、それとも、環境の問題(日本語を聴く機会が少なかったり、多言語環境にあるため)なのか？
- 社会的なつながりがない環境では、他の子と比較してみる機会がないため、親が問題を感じない場合がある。



子どもが就学前施設に入れば、見定めが付きやすくなる。

(8) 情報が届いているのか心配

- 保育園入園の申し込み時期に手続きができておらず、「働きたいのに働けない」母親たちがいる。
- 幼稚園の入園に向けた手続きを理解しているのか。
- 「子育て支援ガイドブック」は日本語版のみ。
多言語対応となると、毎年の情報更新が課題。
- 外国人転入者に渡すリビングガイドは、けっこう分厚い冊子なので、読んでそこから自分に必要な情報を選び出すのは難しいかもしれない。

『豊岡市 子育て支援ガイドブック』



(48ページ)

(9) 経験の蓄積・共有に課題がある

- 子どもの年齢が5つ6つ上の母親が先輩ということにつながれば、うまくいく可能性があるように思う。
- 豊岡では事例数が少ないので、但馬地域とか兵庫県とかで共有できるとよい。

3 支援する側が知りたいこと・要望

- 外国人夫婦が困ったときに誰に相談しているのかを知りたい。
- 外国人の困りごとの情報を集約する所があるといい。また、そこから必要な支援に応じた所へつなげられるようなチャンネルがあるとよい。
- 転入の最初の手続きのところで、仲介人がいるとよいと思う。マイナンバーカードや国民健康保険の手続きを手伝ってくれる人がいるとよい。

- 生活する中での地域住民と共生する仕組みや交流する仕組みを取り入れているところや先進的な取り組みをしているところ、言葉の壁を乗り越える術など、他の自治体の取り組みについて知りたい。
- ずっと日本で生活していく場合、家庭で日本語に触れる機会が少ない場合は、どうすると良いのかを知りたい。

4 外国人の母親の妊娠・出産・育児経験、 日本と母国との違い

- 母子手帳制度はない。日本でもらって、すごく安心した。(ベトナム)
- 中国にも母子手帳はある。会社から渡された。保健師はいない。(中国)
- 日本だと妊娠中の食事制限があるが、ベトナムだとあまり言われない。私も太ったと怒られた。(ベトナム)
- 日本の方が妊娠中の体重管理が厳しい。中国では、お腹の子と二人分しっかり食べなさいと家族も言ってくれる。検診で体重を測ることもなかった。(中国)
- 妊娠・出産でかかった費用が返ってくる制度(医療費控除)はない。(フィリピン)

- フィリピンでは出産後1週間、シャワーを浴びてはいけないと言われるが、日本の病院で看護師にシャワーをしなさいと言われた。(フィリピン)
- 出産後1カ月間は、外出しない、髪の毛も洗わない、風に当たらない、冷たい飲み物を飲まないが、日本では守れなかった。(ベトナム)
- ハグやキスなどのスキンシップは小さい頃からしている。(フィリピン)
- フィリピンでは赤ちゃんをおんぶしない。とくに女の子は、足が広がってガニ股になるのが心配だから。(フィリピン)
- 中国では、子どもが生まれても、友人と連絡をとったり会ったりする頻度は特に変化しない。日本よりも気楽に連絡をとりあっている。育児不安には日本の方がなりがちなのでは。(中国)

- 予防接種では、言葉がよくわからず、なんのワクチンかわからないこともあった。(ベトナム)
- 離乳食は自分で作った。日本式のを、ママサロンと保健師さんの離乳食クラス(保健所)で日本人のお母さんたちといっしょに勉強した。(ベトナム)
- 日本だと、子育てするのが疲れる。保健師さんがいろいろ手伝ってくれるし、予防接種など丁寧に連絡してくれるのはよい。でも、それ以外は一人でやらなければならない。祖父母や親戚など、助けてくれる人が近くにいない。(ベトナム)
- 日本では、お母さんが一人でがんばっている、あまり父親が助けられない。祖父母も働いていることが多いので、あまり手伝ってくれない。ベトナムの子育ては楽。「みんな、産むだけ」。産めばみんなが育ててくれる。あれこれ気を遣わなくていい。(ベトナム)

5 見えてきた課題

(1) 情報の必要

- 豊岡および他の自治体の経験や取り組み(ノウハウの蓄積)
- 外国人妊産婦とその家族の困りごとへの対処法・支援ニーズ
- 外国人妊産婦とその家族による支援サービスの認知度
- 外国人妊産婦の母国の育児法・育児文化
- 子どもの言語の獲得にかかわる専門知識

(2) 保健師・行政関係者と外国人妊産婦・乳幼児の親をつなぐ人や 仕組みの必要

- 転入手続き時の案内の工夫
- 日本での出産・育児経験のある外国人の母親による支援
(有償ボランティア?)
- 外国人の困りごとを集約し、必要な支援につなげる仕組み

Ⅱ 外国にルーツのある子どもとその保護者の 就学前施設における現状と課題

—就学前施設、外国人保護者 聴き取り調査報告—

本報告の構成

- 1 当該園児の就学前施設における現状と課題
- 2 園と保護者との関係、家庭の状況
- 3 見えてきた課題

1 当該園児の就学前施設における現状と課題

国際結婚家庭（多くは父親が豊岡出身）の子ども

豊岡生まれ、豊岡育ち

日本国内の他地域から豊岡へ

外国から豊岡へ

両親ともに外国人の家庭

「両親ともに外国人で、日本語がまったくできない子どもが、急に入園してくる」ということが、めずらしくなくなりつつある。

(1) 園児の入園前の状況、生活環境・生活文化の把握/理解

- 入園前に、食事、排せつなどについてのその子の状況や、衣食住の環境・文化がわからないと、生活支援のやり方がわからず、入ってきてから一生懸命理解しなくてはならない。

例：トイレでの排泄後、紙で拭く習慣がない。

極端な厚着など、季節や状況に合った服装でない。

- 問題の原因が、生活様式なのかその家庭での育児のあり方なのかという区別がわからない。それぞれの国や地域の生活様式を理解した上で、園ではどこからスタートするか考えられる。
- 育児経験のある外国人の保育補助者がいる園もある。
(制度としてではなく、たまたま)



入園前に、通訳だけでなく日常的に関われるようなサポート体制があり、入園の時点でしっかりした情報伝達があるとよい。
衣食住、睡眠習慣、昼寝など、生活の基本となることについて、朝から晩まで、だいたいどういうふうな生活様式なのかを知りたい。

(2) 日本語がわからない子どもへの支援

- 園児のための通訳の派遣はない
(多文化共生サポーターの派遣は小中学校対象)
- 絵カードの利用、写真で制作工程を見せるなど、言葉がなくてもわかるようにする工夫(子どもたちも絵を見せて会話をしようとする)

(3) 言葉の発達

- 言葉がほとんど出て来ない、年齢相応の指示が伝わらない、ゆっくり一対一で話さないと伝わらない、など気になる事例がみられる。

発達的に課題があるのか、言葉の環境の影響なのかがわかりにくい。

家庭内で母語を話している場合

外国で暮らしていた期間が長い場合

外国と日本との間を行ったり来たりしている場合

- 友だちとかかわりたい気持ち伝わらず、手が出ることも。
- 助詞を使わずに話す。 → 母語が日本語でない母親の影響？

日本語で子育てをした外国人保護者の声

- 日本で子どもを育てるならば日本語で育てなければ、と先生等によわれ、自分の日本語はネイティブの日本語ではないし、発音もネイティブではないので、自分の言葉が正しい日本語になっているかと考えながら話さざるを得ず、つらかった。
- 普通なら[子どもに]ダメと言った後に[ダメな理由について]説明をする。私の時は、わかる日本語が少なかったので、本当にダメだけを言う。子どもたちはなぜダメか全然わからない。多分それは大きなこと。日本にいるから日本語を先に覚えさせた方がいいんじゃないかと言われたので、私たちはそういうふうにした。ただ、私がコミュニケーションが取れないことになっちゃう。

長期的に子どもの発達をみると、親が自信を持ってしっかりとコミュニケーションできる言語を使用するのがよいと言われている。家庭で、「質の高い会話」が行われていると、認知面(概念や思考力等)はしっかりと発達し、小学校以降の「学習言語能力」の習得に生きてくる。

2 園と保護者との関係、家庭の状況

(1) 保護者との意思疎通

- 親のどちらかが日本語ができて仲介することができれば、日常の生活面ではとくに困ることはない。
- 外国人の母親が日本語でのやりとりがある程度できる場合、わかりやすい言葉で、ゆっくり丁寧に話す。母親も、わからないことは聞いて来る。
- 親と日本語で意思疎通できず、親の知人を通じてやりとりせざるを得なかったケースも。
- 日本語と母語ができる上の子が、親や知り合いの家族の通訳をしたケースも。
- 「園だより」にルビをふっていたが、日本語だと読んでくれないことがわかり、やめた。

- 親と日本語で意思疎通できない場合、園でできることはして、保護者の負担を減らした。(例:検温)
- 通訳は日程調整が必要で、すぐに来てもらえないこともあるため、携帯の翻訳アプリを使って会話。



アプリケーション画面

<ICTを活用した言語的支援>

政策調整課で契約した「VoiceBiz」を各園のタブレットに入れる。

西保育園に導入。八条・竹野認定こども園にも今後導入予定。

(2) 家庭の状況

- 国際結婚家庭では、同居の祖母による支援がみられる。
- 意思疎通が可能な言語が異なるため、家庭内でのコミュニケーションが難しいケースがある。(例:母と上の子は母の母国語で、父と下の子は日本語で)
- さまざまな事情により、父母のいっぽう、あるいは両方と一緒に生活できないなど、家庭環境が複雑なケースが少なくない。
 - 教育委員会、健康増進課、こども支援センターなどと連携して対応

(3) 日本の就学前施設・育児文化等に対する外国人保護者の印象、日本と母国との違い

- 保育園の申込書が日本語しかない。英語版を作ってほしい。
- 保育園や学童の継続の手続きが簡単にならないか。去年と同じなのに、毎年同じことを書くのは大変。
- ベトナムでは母親が働きに出るさい、子どもをどこかに預けることに抵抗はないが、日本では「かわいそう」と言われた。(ベトナム)
- 日本では、毎週月曜日にいろいろなものを用意してから送らなくてはならないのがたいへん。ベトナムでは着替えぐらい。(ベトナム)
- 保育園では、一日のスケジュールが流れ作業のように決まっていると感じる。遊びの時間も、中国の場合は皆が揃って一緒に行動するというよりも、それぞれが自由に好きなことをして遊んでいるように思う。(中国)

- 保育園では、連絡帳に連絡事項を記入するのではなく、送迎のさいに口頭で伝えるようお願いして、負担が減って助かった。(中国)
- フィリピンでは、親戚が多いので、子どもをいつでも預けられる。みんなでみる。隣の家にもお願いできる。日本で子育てをしていると、子どもを預けるところがないので、すごく困っている。(フィリピン)
- フィリピンの子どもたちは、近所のお兄ちゃんやお姉ちゃん、友だちのなかで自由に育つ。年上の子どもたちがすることを見て、着替えやトイレなど、勝手にできるようになる。先生からではなく、遊び回りながら自分で勉強する。(フィリピン)
- 子どもが走り回ったりすることに対しては、いちいち気にしない。(フィリピン)
- フィリピンではご飯の時にはコーラかジュースを飲む。水はあまり見かけない。お茶は全然ない。(フィリピン)

3 見えてきた課題

(1) サポート体制づくりの必要

- 入園前から、通訳だけでなく日常的にかかわれるようなサポート体制
- いきなり入園するのではなく、状況把握をしたうえで園とつなぐ仕組み
- 入園説明・保護者面談時の通訳(市で)
(理想は、日程調整をしなくても、すぐに対応してもらえる通訳)
- 園児のための通訳、サポーター
- 通訳アプリの利用の拡大
- 教育委員会、健康増進課、子ども支援センターなどとの連携・協力
- 子育て経験のある外国人(保育補助者、保育士など)、豊岡育ちの外国にルーツのある青年の活躍

(2) 情報の必要

- 子どもの言語の獲得にかかわる専門知識
(とくに多言語環境にある場合。母語／継承語保持の重要性)
- 外国人保護者の母国の育児法・育児文化、生活環境・生活様式など

(3) 利便性の向上、保護者の負担軽減

- 連絡用アプリ利用の拡大
- 提出書類の簡略化・デジタル化(前年度と同じ情報、住所などすでに行政で把握されている情報を書かなくてもよいように)、英語版の作成